

がんの予防につながる ワクチンがあります

～HPVワクチンで子宮頸がん^{けい}予防を～

HPV（ヒトパピローマウイルス）とは？

どうやって感染するの？

せっしょく
性的接触で感染します。

ワクチンで何を
予防できるの？

子宮頸がんの原因の
60～90%を防ぐ
ことができます。

いつ接種したら
いいの？

小学校6年～高校1年相当の
女子は定期接種の対象です。



©2014 大阪府もずやん

HPVに感染すると
どうなるの？

感染しても無症状ですが、
一部の人でがんになって
しまうことがあります。

ワクチンには
リスクがあるの？

接種部位の痛み等や、
まれに重い症状^{しやうじょう}が起こる
ほか、広い範囲^{はんい}の痛み等の
多様な症状が報告されて
います。

どうやって感染するの？

主に^{せつしよく}性的接触により、女性だけでなく**男性も感染します。**

HPVは、一度でも性的接触の経験があれば誰でも感染する可能性があります。

HPVに感染するとどうなるの？

感染しても^{むしやうじやう}無症状であり、ほとんどの場合、ウイルスは自然に消えますが、**一部残ったウイルスが原因でがんになってしまうことがあります。**

HPVは、子宮頸がんのほか、性別を問わず^{けい}中咽頭がんや^{ちゆういんとう}肛門がん等の原因にもなっています。

いつ接種したらいいの？

【定期接種対象者】

12歳～16歳の女子



【キャッチアップ接種対象者】（2025年3月末まで）

（既に接種した回数も含めて3回まで接種無料）

1997年4月2日～2008年4月1日生まれの女子
（定期接種対象者を除く）

ワクチンで何を予防できるの？

子宮頸がんの95%以上はHPVが原因であることがわかっています。HPVワクチンを接種することで、**子宮頸がんの原因の60～90%を防ぐことができます。**

子宮頸がんは^{さい}20歳代から増え始め、日本では毎年、新たに約1.1万人が子宮頸がんにかかり、うち約2,900人が亡くなっています。**男性も接種することで、自身のがん予防につながり、パートナーへの感染を予防することができます。**（男性は任意接種のため、費用がかかります）

ワクチンにはリスクがあるの？

多くの方で接種部位の^は痛みや腫れ、赤み等が見られ、まれに^{しやうじやう}重い症状が起こることがあります。また、^{はんい}広い範囲の痛み、手足の動かしにくさ、^{ふずいいうんどう}不随意運動といった多様な症状が報告されています。ワクチンが原因となったものかどうかわからないものも含めて、接種後に^{じゅうとく}重篤な症状として報告があったのは、ワクチンを受けた1万人あたり約6人です。

※接種後に気になる症状が出たときは、接種した医師やかかりつけ医に相談してください。



HPVに関する情報はこちら



HPVワクチンの定期接種に関する問い合わせ

お住まいの市町村予防接種担当課へお問い合わせください。

HPVワクチンの一般的なことに関する問い合わせ

感染症対策企画課 感染症・検査G 06-4397-3549

HPVワクチン接種後の学校生活に関する問い合わせ

保健体育課 保健・給食G 06-6944-9365

大阪府 HPV

検索

大阪府
ホームページ

府公式YouTube
チャンネル

